# 萬葉集註釋

卷十三 十四
十五 十六

特別
へ4
5497
4

特
門 へ4
號 5497
卷 4

昭和三十一年十月四日 購求

# 萬葉集註釋卷第十一

第十一卷

新室屋常方迎御座結根草如依逢未通女者公隨

おひらぎらふまのうんとすしば。おりしきまうをて。とるてこまぐび
てからるゝかぐ〳〵。ゆふとゝ
ゆめるゝ

新室蹈鞴子之手玉鳴響玉如所照公乎内等白世

この可賀二首とも古說まいふむきつをこがたゝまるしもと
点をう。それのゝとぶいく〳〵かぐかり。めぐきてゝこゝる仰られたるのん
あひうるふず。今和し撥ていく。物むきづよこしたるうのしも

岡田眞之藏書
清綱

とゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝのゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てもなくなりぬ。いとあわしく擾てうきこといとしげくふるのうき
すぎうきるれやうこしてもうきふくうきすきうきもふるうきうき
うべきうきやうきるれやういつうきうきうくるをうきぬるうきと
うるといひてやうきるいのうきてうきるのうきぶくいさうんどう
みうきうきといひすすぎ。又人のゆひふくうきめぶいうきうき
もあるどういつうきうきあうきうみうきうきるれうきうきす
うかもうきうきうなぶ。かのうきの水板の水とうきぬうきうき
うきうきう

何名頁神 ナニナニノイ 鄂 奉者吾 怠妹夢 谷見

うの方古既うぶいうきうみうきぬうきもうみうきうぶ。うぶ方
いりうきめうぶうきうんと既うぶ。数句何名頁というきうんと和



すべしうきうきうぶ。又うのんうきうやかうきすぶうきて和ーうきい
うきぶ。うきうきのうきんだうきうきうきうぶうきうきうぶ名也うい頁う
ううきうぶうきいうきうぶうべしうきなふぶ。うきうべうきうぶ
きうきうきうきいうきうきうきぬうきうぶうきふうきのる
うきうきうぶうきうきうきうきうぶうきうの集和十
義指幸行芳野離宮之時儲作歌の国の中うも。毛能乃歌
能後藤孝母能平毛能能我能歌流。能能我名頁名頁と上
めるうう。坂うのんぶうきうきうきうきうきうきうきうきうぶ
うきうきうぶ。おうきうんうきうぶうきうんとうきうなう

駿後深澤島山暫君国不見苦有
うきうきうやう。

陸国うう。うきうの三うきう。陸奥国い。東山

[illegible]

紀鏡能登香山可詠[illegible]

節[illegible]の袴の紐乃[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちぬのこみ　　摂津国

きこちのこちこちこちこいこいこい

人とそうろうの女のいくさ。ふるいかぶとおそうろうていそう命醫
ゑ。ものの女のそうろうたるが。うち申生とそうろうてそうろうひとりなり。
いくさいくさそうろう。たのある申生とそうろうぞ。そのそう。後の女
やまぶのちよとそうろうぐいそうろう。そうろうの西そうろう。ひとり書そうろうれ。
そのいそうろうせそうろいひつそうろう。そうろうのひとりるぶとそうぶと
はぶかくそうろうそうろうそうろうぶ。たよりいぐいくいくのつくそ
のひとりそうろうと。やそうろうのそうろうふやそうろうそうろうるそう。西そうろうそうそう。
はそうろうの獻公かまそうろうおそうろうりはぶそうろうぶ。そうろうるあ
ふ。いくいくそうろうあき毒附よそうろう。そのひとりそうろうぎのそうろうめそうろうてそうろう。
獻公そうろうそうろうそうろう。そうろうめそうろうもそうぶ。そうろうあ申生そうろうはぶく
いぐ。たよのそうろうそうろうひとりそうろうぎそうろうそうろうせそうろうはぶ。獻公上

ヲ坊

ヲキナイ坊

ヲ坊

そうろうぶくそうろうそうろうそうろうる。女のひとりそうろう。そうぶいそう
そうろうそうろうきそうろうひとりるぎそうぶそうろうぶそうろうぶものそうろうそう。
そうろうそうろうぶそうろうそうろうてそうろうぶ。そうろうそうろうそうろうそう
はぶ。そのそうろうそうろうそうろうるのそうろう。そうろうあがりておひきはぶ。ふ

ヲ坊

たりそうろうそうろうそうろうれ。人のよ。ぶそ
そうろうのそうろうそうろうそうろうそうろうぶ。そうろうぶそうろう
そうろうそうろうそうろうぶ。獻公のそうろうそうろうぶそうろうそうろうぶ。あそうろうがぶそう
そうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそう。
そうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそう。人のそう女のそうろう
そう。そうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそう。そうろうそうろうそうろうそうろうそう。
そう。そうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそう。そうろうそうろうそうろうそうろうそう。
そうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそうろうそう。そうろうそうろうそうろうそうろうそう。
そう。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

酢蛾島之夏身乃浦尓依浪間文置吾不忘君

塩滿者水沫尓浮細砂巖吾者生鹿戀者不死而

吾妹子不相久馬下乃阿倍橘乃蘿生左右

この方を見るに、わらもとの葉のあべたらば
なのりけれども、すべて詠せず。中ごろの和歌ひろうず。今和橘
てしくもこそ。あべひろもとものあべらるるみけ
のもすすでつとをべ。ものもとをべ。ものもとをべ。
うもものあべらるべけるあべいうんうるとい和
うれべあべとしんあのの紙和。ものとけるいんる海
せばものつかもるるる

不可免

隱津之澤立見尔有石根從遠而念君尔相老者

此歌二句古點ハ[illegible]

[illegible]

水源玉尔接有礒貝之獨戀耳年者　経管

[illegible]

譬喩歌

紅之深染乃衣手下着者人之見久尓仁賀比將出鴨

譬喩歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

私云筌ノ如ク人忘ニカケテモレヤトモ
トナリ　イカ

山河尓筌辛伏而不肯盛年之八歳辛吾竊歎師

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日本之室原乃毛桃本祭言大王物乎不成不止

桃ハ花おもしろくさけども。こゝろ事ハ。ものゝ[illegible]

[illegible]

真菊延山野之陰茅乎自心毛人引日八面吾莫咲

[illegible]



三島菅未苗在時待者不著也將成三島菅笠

[illegible]

第十二卷

歌方毛曰管毛有鹿吾有者地庭不落室消生

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
勝向井玲水出于此辺所ス名勝向井者昔傳健天皇命乃
依大御柳笥之忌而勝向栗人者穿井故名也　上ニ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十四月の[illegible]

[illegible]

木綿畳田上山之麓名蔓在去之毛不宮有十方

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白月山　鳥井国　敷津之浦　摂津国　河内国
河辺　芦屋国　摂津国　伊賀国　近江国
能登海　能登国　能登国　信濃国　武蔵国
飽海浦　越後国　飽海の郡　常陸国　相模国

第十三卷

五十猛神国産奉神主部之雲裏玉藻見者之父
先逝るの子を祝すると云ふ。
きみをしまつりすると云ふ。
るを。それをいとこそ。みたまをいはひまつりのまつりのうぐいすびきいて。



そのやうるれば。うよのうちみをしまつりすると云ふ。
うてのこそ。いとこそ。みたまをいはひまつりのまつりのうぐいすびきいて。
くとふみてぐこそ。みたまをいはひまつりのまつりのうぐいすびきいて。
ものをいとこそ。みたまをいはひまつりのまつりのうぐいすびきいて。
りとふ冠位のまつりのまつりのうぐいすびきいて。
とふ。

推古天皇御宇十一年十二月戊辰朔壬申始行冠位大徳小徳
大仁。小仁。大礼。小礼。大信。小信。大義。小義。大智。小智。并十二階并人
當色紫　絶縫之頂撮如囊而著縁焉唯元日著髻華　冠義
此云千瑰　又同廿五卷孝徳天皇御宇三年是歳制七色一十
三階之冠乃至其冠之背張漆羅以縁与鉤異其高下形

似蟬小錦冠以上之鈿雜金銀為之大小青冠之鈿以銀為
之大小黒冠之鈿以銅為之走武之冠无鈿也此冠者大
會饗客四月七月齋時所著也
帝叫橘從出而水葱穂積至島網張坂手平過石走其南
備山丹朝宮仕奉而吉野郡登入座見者古所念



劔刀鞘從拔出而伊香埴山
阿埴乃海　長門国
夏麻引命號野備鷲之心文小行荷

此床乃比師縣鳴左右嘆鶴鴨

海中之例者集人俗諸云必志

海岡風ち乱云必志里者者此村之中在海之例国日必志里

十六待如床敷而吾待ゆ犬莫吠行年

十七

管根之根毛一代之間濃呂尓吾念有妹尓縁而者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

衣袖大分青馬之嘶音情有鬼常從異鳴

隱素之長谷之川之上瀬尓鶏矣八頭漬下瀬尓鶏矣八頭漬上瀬之年魚矣食咋

吹風毋和者不吹主恨毋歸不主跡

杖不足八尺乃嘆

十四

永仁六年三月廿五日書了　仙覺生判

建治元年九月十一日以写之作者　仙覺律師
り年卷　叡書写畢　　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

奥義書云。

武行

萬葉集註釋卷第

第十四卷之餘下

須受我禰乃波由馬宇馬夜能都、追美井乃美都乎多麻信

奈伊毛我多太手欲

この手の二の句。古訓ひるる手。仁知模云。いつくしくやの字。

ひるる手。知模云。いつくしくやの字。

すづくしくもの。又この集の第十八卷に先妻不能美見

無使月未時化粉。たゆ夫流兒我伊都伎之茅渟乃須

受可氣奴波由麻久太礼利佐刀毛茅騰呂尓とあり。

[illegible]

頭書朱 私勅ノ本記第二十六云東方駅ニ又云ク自近江朝
駅使至ル云ク今勅
任新ノ遠ノ今勅
本ノ云ク
テスコシハル
テッ
ノ
楽ノ

[illegible]

久敬胡之尓武藝波武古字馬能波都波都尓安比見
之児良之安夜尓可奈思母

この哥ハ[illegible]字麻勢胡之[illegible]
[illegible]七十人[illegible]
[illegible]



[illegible]

挽歌

ずて。ゆれうごく挽歌うたひ。
ものうたふ